

信州大学教育学部附属長野小学校学校だより



題字：校長、文責：教頭

5月、自然体験園では、新緑の中を思い切り体を動かして、駆けまわったり、草花を探したりと子どもたちが体いっぱいに学んでいます。今回は、5月の校長講話の様子をお伝えいたします。今年度の校長講話は、信州大学にあるお宝を探して、現地から校長先生が中継で子どもたちに語り掛けます。5月は松本キャンパスからのお話でした。

## 信大お宝めぐり 理学部編(5月1日 校長講話)

### 1 信州大学自然科学館を訪問

「全校のみなさん、おはようございます。今日私は、松本市にある信州大学自然科学館に来ています。お宝は何でしょうか、ワクワクしますね！」

今回の校長講話では、信州大学の松本キャンパスにある理学部の信州大学自然科学館からの中継でした。スペシャルゲストとして信州大学自然科学館 理学部教授 山田 桂(やまだ かつら)館長様をお迎えして、解説をいただきました。



### 2 手作りの恐竜の模型がお出迎え

「みなさん、これは何かわかりますか？何でできているのでしょうか？…なんと折り紙で作られているのです。」以前学生の方が折られた模型からスタートしました。自然科学館にはたくさんの生物に関する模型や化石、資料が展示されています。



### 3 アンモナイトの多様性



「くるくる巻いているあれは何ですか？」

みなさん、左の写真の生物が何か分かるでしょうか。巨大なミミズのような化石ですが、じつはこれはアンモナイトなのです。通常のイメージは、左下端にある写真のような姿ではないでしょうか。山田先生に解説していただきました。学名は、「異常巻きアンモナイト」と言われるそうですが、異常ではないようです。巻貝の形をしたもの、二つに折れているもの、くるくる巻いているもの、それぞれが別の種類のアンモナイトだそうです。太古の自然が多様性を育んできたのですね。



#### 4 ダイカイギュウ化石の発見のお話

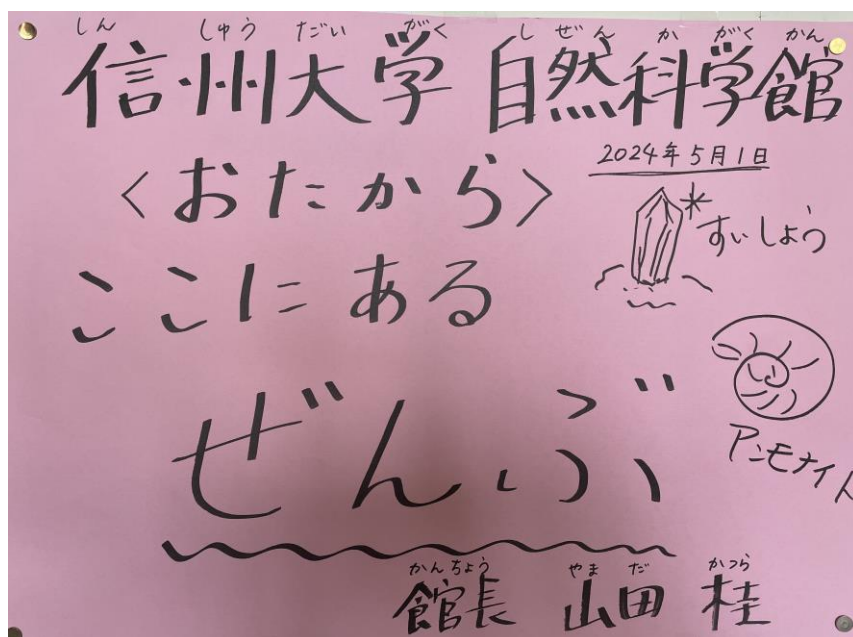
「これは何ですか？」

長野市に住んでいた生き物の肋骨なんです。ジュゴンやマナティの仲間ダイカイギュウと言います。2009年に現在の長野市の中条地区で発見されました。発見したのが山田先生なんです。約500万年前に暮らしていたと考えられています。みなさんの住む長野市は海だったのですね。



他にも、長野県の大地の宝である様々な鉱石（大変大きな水晶など）をご紹介いただきました。校長室には、興味を持った子ども達からたくさんの岩石が日々届いています。

#### 5 信州大学自然科学館様にとってお宝とは、なんですか？



さて、次回はどこにある、どんなお宝が登場するのでしょうか。お楽しみに。

(5月1日 校長講話より)

### 聴こえてくる、わたしの「音」 (全校音楽集会)

5月15日(水)に、今年度初めての全校音楽集会が行われました。全校が体育館に集い、音を楽しみながら体いっぱい表現していました。5月25日(土)の地域公開参観日でも全校音楽があります。ぜひご参観ください。



### 「学校からのお願い」

子ども達の忘れ物が増えています。始業後に保護者の方が忘れ物を届けに来る必要がないよう学校でも児童に前日のうちに、翌日の授業や持ち物の準備をすることを指導していきます。ご家庭でもお子様にお声がけをお願いいたします。あわせて、持ち物には記名をしています。いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。